

【教育目標】 磨き合おう 助け合おう 勇気をもとう

平成31年度重点目標

地域の教育力を生かし、人とのかかわりを通して  
確かな学力を育成する 心トキめく学校

知

- 友達とかかわり合いながら、考えを深める子ども
- ◇佐渡のよさに気づき、課題解決のために実践する子ども

- 職員各自の研修教科において、筋道を立てて説明できる子どもが1学期50%以上、年度末で70%以上
- 9割以上の日で、家庭学習を提出する子どもが90%以上
- ◇振り返りシートに佐渡のよさの記述がある子どもが90%以上

- 各研修教科の思考力を高める場面において、「個人研修計画」に沿った授業を行う。
- 「筋道立てて書く力」を高める場面を各単元で設定し、指導する。
- 終会時に「犁雨軒舎（りうそんしゃ）タイム」を実施し、家庭学習の内容・方法について指導・助言する。
- ◇地域に関わる体験的な活動や発信・発表を学期1回以上行う。
- ◇地域コーディネーター（CSディレクター）と打合せを行い、共に活動することで、活動の充実を図る。

日々の授業の充実

徳

- 安心して学校生活を送る子ども
- ◇相手に伝わるあいさつをする子ども

- 学校が楽しいと感じる子どもが90%以上
- ◇相手に伝わるあいさつができる子どもが80%以上

- 全学級で人間関係づくりや自己肯定感を高めるための活動を学期2回以上行う。
- 心の健康チェックの実施とそれに基づく教育相談を学期に1回以上行う。
- あいさつ強調週間に、各学年が順番にあいさつ運動を行う。
- ◇給食時にあいさつがよい子の紹介等、あいさつに関する講話・指導を学期に3回行う。

体

- 望ましいリズムで生活する子ども

- 生活リズムチェック強調週間の取組で7割以上○が付く子どもが80%以上

- 各自でめあてを立てて取り組む生活リズムチェック強調週間（メディアコントロールも含む。）を年3回行う。
- 強調週間前に、望ましい生活習慣づくりに関する指導を全学級で行う。
- 生活リズムチェック強調週間の結果をたよりで保護者に紹介し、啓発する。

保護者・地域の参加・参画・連携

- PTA活動
- サポート委員会
- 読み聞かせ
- トキっ子学習塾
- クラブ活動
- 大人のあいさつ隊
- 学校田活動
- いきいき学級
- 秋の遠足
- 商工会イルミネーション事業
- 地区学校運営協議会（コミュニティースクール）